



日本うつ病学会治療ガイドライン

II. うつ病 (DSM-5) / 大うつ病性障害 2016 発表

～ 児童思春期や睡眠障害の内容を加えさらに充実 ～

【記者発表：8月6日（土）12時30分～@ウインクあいち：第四会場】

【本発表のポイント】

- ◆日本うつ病学会において、うつ病の治療ガイドライン 2016 を発表した
- ◆2013 年版に、「児童思春期のうつ病」と「うつ病の睡眠障害とその対応」の章を加え、2013 年の DSM-5 に準拠した形で改訂を加え、さらに内容が充実した
- ◆精神科医に対するガイドラインを用いた教育による普及研究 (EGUIDE 研究) が行われ、より適切な治療が広く行われることが期待される



日本うつ病学会

❖ 概要

日本うつ病学会(尾崎紀夫理事長)の気分障害の治療ガイドライン作成委員会(神庭重信委員長)は、うつ病 (DSM-5) / 大うつ病性障害の治療ガイドラインを改訂し、2016 年版を第13回日本うつ病学会総会(尾崎紀夫大会長)にて発表しました(8月5日 15:50～17:50 シンポジウム 5)。2016 年版においては、2013 年度版の一部改訂に加え、「児童思春期のうつ病」と「うつ病の睡眠障害とその対応」の章を新規に作成し、2013 年の DSM-5 に準拠し、広くうつ病全体の治療について対応できるものとなりました。さらに、本ガイドラインの普及のために精神科医に対する教育プログラムを行いその効果を検証する EGUIDE 研究を行います。今後、本ガイドラインを用いたより適切なうつ病治療が広く行われることが期待されます。

❖ 背景と意義

精神科医療においては、心理社会的療法と薬物療法がその両輪ですが、その実践については、臨床家ごとのばらつきが大きく、よりよい医療を普及させることが必要とされています。2012 年に発表した初版及び 2013 年の改訂版のうつ病の治療ガイドラインにおいては、全例に行うべき基礎的介入として、患者背景、病態の理解に努め、支持的精神療法と心理教育を行うことと、薬物療法や修正型電気けいれん療法などの生物学的治療法をうつ病の重症度に応じて用いることが記載されていました。2016 年版においては、社会的要請の大きい「児童思春期のうつ病」と「うつ病の睡眠障害とその対応」の章を新規に作成し、それ以外の項目については若干のアップデートを行い、広くうつ病全体の治療について対応できるようになりました。

本学会ではうつ病・双極性障害の治療ガイドラインを書籍化するだけでなく、よりガイドラインの普及を推進するため学会のホームページにて無料でダウンロードできるようにしてきました。このような状況にもかかわらず、まだこれらの治療ガイドラインが十分に普及したとはいえない現状があり、よりよい精神科医療を広めるための工夫が必要であると考えられています。しかし、精神科領域においてガイドラインの効果を検証した研究は未だなく、全く新しい試みとして、「精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究：Effectiveness of GUIDeline for Dissemination and Education in psychiatric treatment」(略称 EGUIDE 研究)を最新のガイドラインを用いて行います。EGUIDE 研究にて講習を行うこと自体によってガイドラインの普及が進み、若手の精神科医に対してより適切な治療の教育が行われ、その結果として、より適切な治療が広く行われるようになることが期待できます。また、教育効果を検証することにより、さらに効果的な講習の方法論が開発され、精神科医および精神科医療にかかわるコメディカルスタッフへの生涯教育法の開発や、当事者やその家族への教育にもつながる可能性があります。

大うつ病性障害・ 双極性障害 治療ガイドライン

日本うつ病学会
気分障害の治療ガイドライン作成委員会

うつ病学会作成の治療指針、
待望の書籍化！

最新のエビデンスに基づき、日本の日常臨床を
踏まえた治療法を解説する必携書！

医学書院

❖ 特記事項

EGUIDE 研究は、右図のように全国 22 施設が参加して、うつ病治療ガイドラインと統合失調症薬物治療ガイドラインを対象として行います(代表:大阪大学:橋本亮太准教授)。うつ病治療ガイドラインについてはうつ病事務局である杏林大学(渡邊衡一郎教授)を中心に、統合失調症の薬物治療ガイドラインについては統合失調症事務局である東京女子医科大学(稲田健講師)を中心に、ガイドラインに基づいた講習を行います。講習は、全国 9 カ所で行う予定となっており、よりよい精神科医療が行われるようになることが期待されます。



❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター
 大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座精神医学教室
 准教授 橋本 亮太 (はしもと りょうた)
 電話:06-6879-3074 E-mail: hashimor@psy.med.osaka-u.ac.jp

日本うつ病学会 事務局 (株式会社コンベンションリンケージ 内)
 TEL:03-3263-8697 FAX:03-3263-8687 E-mail:jsmd@secretariat.ne.jp

❖ 記者発表のお知らせ

本件に関して、平成 28 年 8 月 6 日(土)午後 12 時 30 分より、ウインクあいち 8 階(第四会場-802-804)にて記者発表を行います。(第 13 回日本うつ病学会総会開催会場内) 是非とも取材方宜しくお願い申し上げます。

発表者:日本うつ病学会 気分障害の治療ガイドライン作成委員会 委員長 神庭重信
 スケジュール:12 時 30 分~13 時 00 分 内容説明
 13 時 00 分~ 質疑応答

